

PSD 協会

令和 7 年 10 月 8 日 zoom 会議事録

書記 松江光弘

日時 2025 年 10 月 8 日 (水) 19 時～20 時 30 分
会場 ZOOM 開催
出席者 川島 哲会長、片岡 均副会長、中野 進也副会長、佐藤 洋久常務理事
清水 一弘理事、仲井 信二理事、歌橋 麗華理事、伊藤 貴也理事
南木 康広氏、高橋 宗一郎氏、松江 光弘理事
座長 中野進也副会長

川島会長挨拶

- 大会申込状況・懇親会・展示 現在、学術大会の申込者は 31 名（招待含む）、懇親会は 23 名。メーカー展示は 5 社が参加予定。申込数がやや少ないため、今週中に 20 名程度増加を目指す。展示スペースと管理体制に限界があり、展示物の追加は難しい状況。
- テクニカルコンテスト進捗 応募者は 22 名。審査は中野副会長が担当。ギリギリで提出された作品も含め、今週中に審査用に取りまとめる。ヤング部門の年齢制限を 35 歳以下に引き上げる方向で調整。
- 役割分担・会場設営 近日中に役割分担や会場設営、管理、弁当手配等の詳細を事務局より提案予定。会場キャパシティは 100 名想定だが、実際の参加者数に合わせて調整中。

高橋 宗一郎氏による 30 周年記念講演リハーサル

- フルデンチャー症例を中心とした補綴物製作の流れと情報共有の重要性について発表。五十嵐先生のスライド作成が遅れているため、内容の一部は今後追加予定。
- 模型分析や患者情報の共有を通じて、最終補綴物の精度を高めることの重要性を強調。独自の指示書や口腔内所見表の活用、設計図の共有など、具体的な情報交換手法を紹介。
- 仮想咬合平面の設定や、前方・後方基準点の決定方法、平均歯牙長の活用など、解剖学的根拠に基づいた規格模型の作成と分析手法を詳細に説明。症例を通じて、咬合平面のズレや顎位の変異を模型から予測し、臨床に活かす方法を提示。
- 質疑応答 指示書の公開・販売提案、患者写真使用時の同意取得の重要性、治療期間の目安、セントリックスライドの評価、治療義歯の材料選定、規格模型作成のコストと保険点数など、多岐にわたる質問が活発に交わされた。
- 発表内容への要望 パーシャルデンチャーとの連携や、参考文献・理論の出典明記、日本人向けデータの補足、画像への説明書き追加など、今後のスライド・発表内容への具体的な改善要望が挙げられた。

次回 zoom 会議予定（日時未定）

- 学術大会の役割分担・会場設営・管理・弁当手配等の詳細提案（近日中）
- 参加者数・会場キャパシティの最終調整